

# 2021年9月定例会 松谷 清 総括質問原稿

2021年9月29日

## 3. コロナ「ワクチン・検査」パッケージについて

### <松谷 清>

明日9月30日、コロナ緊急事態宣言は解除されることになりました。政府は、先立つ9月9日、政府対策本部において、出口戦略として経済界からの要請に基づく個人行動制限、経済活動の段階的制限解除を想定してのコロナ「ワクチン・検査」パッケージや飲食店の第三認証などを決定しました。この出口戦略はワクチン接種の終了を前提にしています。

一方、デルタ株による感染拡大の中、「ワクチン接種後のブレークスルー感染」が取り沙汰されています。

そこで、市内で確認された新型コロナウイルス感染症の陽性者のうちワクチン接種していた人の人数や症状はどうなっているのか。また、その事実について市はどのように受け止めているか。

### <保健福祉長寿局長>

本市において、8月1日から9月23日までの間に発生された新規陽性者3,154人うち、ワクチンを1回接種していた人は181人で、2回接種していた人は210人でした。

また、1回接種していた人の症状については、軽症又は無症状が175人、中等症が6人で、2回接種していた人については、軽症又は無症状が206人、中等症が4人でした。

ワクチンの接種は、感染や発症を完全には防ぐことができませんが、感染や発症と重症化を防ぐ効果があるとされています。

市民の皆さんには、発症と医療体制のひっ迫を防ぐためにも、1人でも多くの方に接種していただくとともに、引き続き、不織布マスクの着用や手指消毒等の基本的な感染防止対策をお願いします。

### <松谷 清>

次に、このワクチン2回接種又は検査陰性というパッケージは、全国10カ所での実証実験など全体像は未定ですが、検査は民間任せ且つ有料とのこと。ワクチン接種が進む中で、2回接種が終わった人がある一方で、アナフィラキシーショック経験者や受けたくないという人など未接種者も一定数残ることも明らかです。

「このパッケージは、ワクチン未接種者への差別や排除を生み出すのではないか」という懸念について、どのように考えるか、伺います。

### <保健福祉長寿局長>

重い急性疾患にかかっている方や、ワクチンの成分に対しアナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方などは、一般に、ワクチンを接種することができません。

国は、今月9日、「ワクチン接種が進む中における日常生活回復に向けた考え方」を決定し、ワクチンを接種した方や検査で陰性が確認された方は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域

でも、行動制限の縮小や見直しを進めるとしています。

また、国は、取組を進めるに当たっては、ワクチンを接種していない方が不利益を被ることがないように十分配慮する必要があるとし、今後、自治体や事業者を含め、国民的な議論を踏まえて具体化を進めていくとしています。

本市においても、ワクチン未接種者が差別されたり、排除されたりすることは決してあってはならないと考えており、今後の制度設計に向けた議論の行方を注視してまいりたいと考えています。

#### <松谷 清>

これらの出口戦略に対して第 6 波への不安、知事会などから自治体と十分に協議する場を作ることなどが提言されています。この行動制限の緩和について静岡市はどのように考えているか。

#### <危機管理総室長>

行動制限の緩和は、10 月から国が実証実験を行うとされている。国の方針に対して経済界が期待する一方、専門家や医療界では、感染再拡大を懸念するなど、様々な意見がある。

感染拡大を抑えながら、1日も早く日常生活を取り戻すことは大事であるが、行動制限の緩和にあたっては、実証実験の結果や感染状況を見極めることが重要である。